

令和2年度 FD・SD 研修会報告

日 時：令和2年9月14日（月）13:00～14:00

講 師：株式会社マインドシェア 西澤 陽介 様

テーマ：アンケート調査について～入学時調査・在学時満足度調査の結果～

株式会社マインドシェアの西澤様を講師に「アンケート調査について～入学時調査・在学時満足度調査の結果～」をテーマで研修会をリモートで開催した。調査結果としては次のとおりとなった。

「建学の精神」（入学者）

入学者全体の認知度は68.7%で、3分の2以上の学生が知っていた。

最も高いのは美術学科79.5%。ビジネス実務学科・幼児教育学科では、19年度卒業生の認知がともに25%程度だったにも関わらず、20年度入学者ではそれぞれ61.7%、70.2%と大幅に上昇しており、校内での浸透の効果が表れている。

「クチコミ」（入学者）

入学者へ貴学の良い意見を発した方は、「高校の担任の先生」（43.2%）で、学科問わず40%を超えて最も高い。次いで「父母等の親族」（33.2%）、「本学在学生・卒業生」（29.0%）。

広告媒体を使った訴求も重要であるが、貴学の入学者を直接的に支えている「高校の担任の先生」「父母等の親族」「本学在学生・卒業生」へ貴学の魅力の訴求を強化することに注力する必要があると考える。

「充実度」（在学生）

在学学生全体の充実度は87.5%。“全く充実していない”は皆無で、“あまり充実していない”は1.6%に留まった。

最も高いのは美術学科94.8%、次いで幼児教育学科87.0%、ビジネス実務学科83.7%。

「期待と評価」（在学学生）

「少人数制の授業が充実している」「教員が1人1人の顔を覚えてくれる」は全学科で期待を大きく上回る評価となった。

美術学科では「制作のために使用できる個人のスペースが確保されている」「ネットワークやコンピュータの施設設備が整っている」は期待を下回る評価となった。

「改善点」（在学生）

「無線LANなど、学内のネットワーク環境を充実させてほしい」や“食堂”“売店”シャトルバス“などハード面に関する要望は6割前後と高い。

“授業”に関する項目である「意欲的に取り組める授業を増やしてほしい」「勉強の方法を教えてほしい」「幅広い供与が身につく授業を増やしほしい」「企業と一緒に商品開発を行うなど、学んだことを実社会に活かせるような授業を設けてほしい」は4割以上が改善をしてほしいと考えている。

“課外活動”に関する項目では「OB・OGの先輩に卒業後の仕事に関する話をたくさん聞きたい」に対する要望が68.1%と非常に高く。全項目中で見ても2番目に改善を求めることが大きい結果となった。

以上のような結果であった。この結果を踏まえ、今後の教育活動等に活かしていきたい。



